

平成28年度第1回 東大和市学校給食センター運営委員会 議事録

開催日時 平成28年7月21日(木)
 開催場所 東大和市役所 会議棟第6・7・8会議室
 出席者氏名 28名
 議題 (1) 会長の選出及び会長職務代理者の指名
 (2) 平成27年度東大和市学校給食会計収入支出決算の報告について
 (3) 平成27年度東大和市学校給食会計監査結果の報告について
 報告 (1) 新学校給食センター建設工事の進捗状況について
 (2) 調理配膳委託業者の選定について
 (3) 新学校給食センターで使用する食器について
 (4) 新学校給食センター稼働におけるアレルギー対応について
 会議形態 公開
 傍聴者数 0名

【議題審議】

会長	流用額について。確定したのはいつか、内容は。
事務局	確定したのは、2月末である。内容は、子どもに人気の果物や乳酸飲料を増やしたためである。
会長	予算の推移をよく見て、いきなり流用するということはないようにしてほしい。
委員	①繰越金1100万。児童一人当たりいくらになるのか。 ②食費は食材だけ、光熱水費は市の会計だが、どこで確認ができるのか、新センターに移ったときに比較できるのか。
事務局	②光熱水費・人件費は、281,33円。試食会等で配布しているしおりで紹介している。新センターでは、機器が新しくなるため、1年経過しないと分からない状況である。
事務局	②運営費、人件費は、公会計で合計3億2千万円ほどである。新センターでは、新しい機器が入り、2階建てとなりエレベーターがはいるなど充実する。ランニングコストを下げるようにしていきたい。予算については、見える形にしていきたい。
事務局	①児童・生徒、職員、センター職員などで、単純に計算すると1人あたり1,500円程度である。
会長	給食費は値上がりするのか。
事務局	過去は消費税増税であげた。現在のところ予定は無い。
事務局	新センターに変わったからといって上がるということは無。運営の経費は公費である。
委員	給食費に児童手当を当てている者の数は。
事務局	116名である。

【報告案件・質疑】

委員	アレルギー対応について。小麦アレルギーの子どもがいる。パンは新センターのアレルギー調理室で作るのか。外注するなら米パンをいれるのか。
事務局	パンについては焼く設備がないので、委託である。米パンの事例もある。現時点では提供を考えていないが、検討していく。
委員	個々食器について。今のワゴンに収まるのか、見直すのか。
事務局	配膳車について、夏休み中に各学校を回って、確認させてもらう予定である。変更しない方向で考えている。
委員	先日試食会があり、50名以上の保護者が参加した。新センターへの期待は大きい。新センターで作られた給食を楽しみにしている。
委員	①キウイフルーツを除去するのは、どういう理由か。他の果物と違うのか。 ②落花生などナッツ類のうちアーモンドだけ除去食提供する理由は。
事務局	①キウイは、たんぱく質が多い。また、キウイフルーツは、アレルギーの子が多く、頻度も少ない。
事務局	①20人弱いる。その他の果物は、1人～5人程度である。
事務局	②ナッツ類の中で、落花生、アーモンド、くるみ、カシューナッツと別物である。アーモンドを対象とした。
事務局	②種実類がなくなってしまうので、食育の問題から残した。
委員	・個々食器はうれしい。今のランチ皿では汁物があると犬食いになってしまい、こぼしてしまう。 ・地場野菜について、作り手生産者の方が見える形が良い。子どもたちが地域に愛着を持ってもらえると思う。 ・40周年式典で、昔の給食を食べてもらうことを計画している。給食からつながりが増える事もある。
委員	カシューナッツはアナフィラキシーが多いと医師に聞いた。本校には、ゴマアレルギーの子がいる。成分の関係でも多く、弁当を持ってきてもらっている。どの程度ゴマがあるのか。
事務局	種実類を増やすために、ゴマを使うようにしている。ゴマ油でも使っている。回数は数えていない。
事務局	ごま油、ゴマドレッシングなどがある。そのまま使うこともある。
委員	本校で、残菜率5%にしようとしている。食育を進めてもらうようよろしくお願いします。
委員	給食への要望がある。共働きの増、子どもの貧困などから給食回数を始業式から終業式まで増やしてほしいという保護者から要望がある。今の見解。
事務局	センターの稼働日について、始業式・終業式以外は提供している。
事務局	学校の経営のこともあり、校長会とも相談していくことになる。新センターが始まれば、また要望も変わっていくと思うが、理解していただきたい。